

ハワイを走るタコマがモチーフのフェイス!

海外仕様と言えばロッコくらいしか存在しなかったハイラックスのフェイスコンパートに、新たな刺客としてリリースされたTACOMAX FRONT FACE kit。ミリ波レーダーやフォグランプなど機能をスポイルすることなくバンパー本体を直線基調にアレンジ。まるでアンダーガードを装着しているかの様な立体デザインがオフローダーらしさに拍車をかける。TRDのアンダーガード装着も可能だ。



片側35mmワイド化で285サイズをカバー

本国のピックアップは大胆なハミタイもOKだけど、ここは日本。だけどリフトアップやホイールの換装を考えるとタイヤサイズもボリューム感が欲しいところ。また、TACOMAX FRONT FACE kitを装着した場合、フェンダー部分のシルエットが純正のパネルラインでは貧弱。MC後期はなおさらその傾向なので、フェイスキットと一緒に取り入れたいアイテム。何より285はスタイリングも抜群にキマる!



EXIZZLE-LINE

●エクスズルライン ●HP : <https://exizzle-line.co.jp>

PHOTO&TEXT●石井秋良

どこへでも行ける気がする アドベンチャービークルの魅力

備えあれば憂いなしを
スタイルに完備

ピックアップ大国と言えばアメリカだが、実はアジア各国をはじめオーストラリアなど世界各国がその機動力、そして積載性に魅了され様々な分野で活用している。中にはスタイル云々は二の次で、荷物を積んで走ることに徹したパターンもあるが、いすれにせよSUVでもミニバンでもない、ピックアップでなければならぬ理由がそこに存在する。日本のハイラックススタイルの大半も、きっとそうしたピックアップじゃなきゃ困る何かがあるのだろう。紹介するエクシズルラインのデモカーは、そんなピックアップ乗りたちが求める多種多様な需要を可能な限り網羅したオールマイティな装備が際立つ。

単純に荷台を有効活用と言つたレベルではなく、スタイリングの向上も踏まえつるべき装備といざと言うときの許容範囲が格別に高い。それでいて街中を走らせていてもクールな装いは特筆物だ。これはレイトナーのFORGEDモールACSのラックにギアボッド、そして270度展開のライノラック、バットウイングなど、一点一点がモノ作りに対するこだわりとクオリティーを追求している証。組み合わせるFORCEホイールのデナリ18インチやタコマックスの相性で人気を博すフェイスキット、オーバーフェンダーなど、どの国を走らせても絶になるスタイルは、まさに、多国籍アドベンチャービークルとして世界各国でも注目の的だ。



8本スポークで構成されるハザードオリジナルブランドのFORCE WHEELS DENARI。17インチ、18インチとラインナップしておりスポーツをリムエンドまで延ばして大径感を演出しつつ、マッドテレーンタイヤに合うタフネスなイメージを高次元で両立。



機動力。

丸パイプストレート構造のシンプルなサイドステップバー。ステップ面積を必要最低限のコンパクトな設計とすることで純正ステップよりも薄くデザインし、視覚効果も相まって車高が高く見える効果も!

リフトアップの



EXIZZLE-LINE

●エクスズルライン ●HP : <https://exizzle-line.co.jp>



RHINO-RACK

WHEEL STEP

ルーフ上の積載や洗車に大活躍



1

STONE REMOVER

溝に挟まった石を取るギアも拘るべし



**DELTA
FORCE**

ストーンリムーバーと聞くとピンとくる方もいるだろうが、ほとんどの方はこの絵を見てアウトドアシーンで使えるナイフを連想したのではないかだろうか。たかがタイヤの溝に挟まった石と侮るなけれ。走行中に石が飛んでフェンダーやボディアンダーに傷を作る可能性もある。取り除く際はぜひ！カッコいいストーンリムーバーでクールに！



ベッド部分を犠牲にしない優秀なシステム
ラックは強靱で質感の高い鍛造製！

一昔前まではキー付トノカバーでベッド部分をトランクの様に愛用するか、シェルを装着して室内化させるのがピックアップ上級者のステータスだったが、ここ数年のアウトドアブームも相まって、積載能力の向上をいかにスタイリッシュにこなせるかが“ベッドメイキング”の腕の見せどころ。紹介するACS FORGEDはその名通り鍛造製のベースラックで様々なオプションアイテムによって拡張可能。片側をアボットにして登山用の靴やウェアを小分けにしたり、シェラフや調理器具などを収納すればそのままバックごと取り出して使える優れもの。撮影車両は反対側にバットウイングオーニングをセットしているが両側セットすればさらに積載力UP。お好みに応じて様々なアレンジが楽しめる点も特筆物だ。

LEITNER

ACTIVE CARGO SYSTEM - FORGED

**GearPOD XL - GEN 2 / GearPOD - GEN 2 / GearBAG
MAXTRAX MKII RECOVERY DEVICE - PAIR / etc**



RHINO-RACK

BATWING AWNING (LEFT)

270度をカバーしてUV対策万全

夏場のデイキャンプやアウトドアシーンにおいて日陰はオアシス。その日陰をわずか2分程度で簡単に、一人でも展開できてしまう優れものがバットウイングだ。リアゲート部分までをカバーする270度展開で太陽の向きが多少傾いていても影エリアを保てることはもちろん、雨天時でも気兼ねなくテーブルとチェアを用意してBBQを楽しめる。紫外線が日本の約7倍とされるオーストラリアを基準にUVカット素材を採用しており、頑丈で骨太な3本のボルトはペグをクロスにして打てる様に工夫を凝らしており、多少の風でも浮き上がりを抑制する。



機動力。

リフトアップの